

事業概要シート

施策 0304 青少年の健全育成

<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	健全育成協議会支援事業	現状維持	予算額	1,895 千円
				<< 1,819 >>千円
事業期間	昭和56年 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
根拠法令 要綱等	大村市少年センター設置規則		地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	1,895 千円

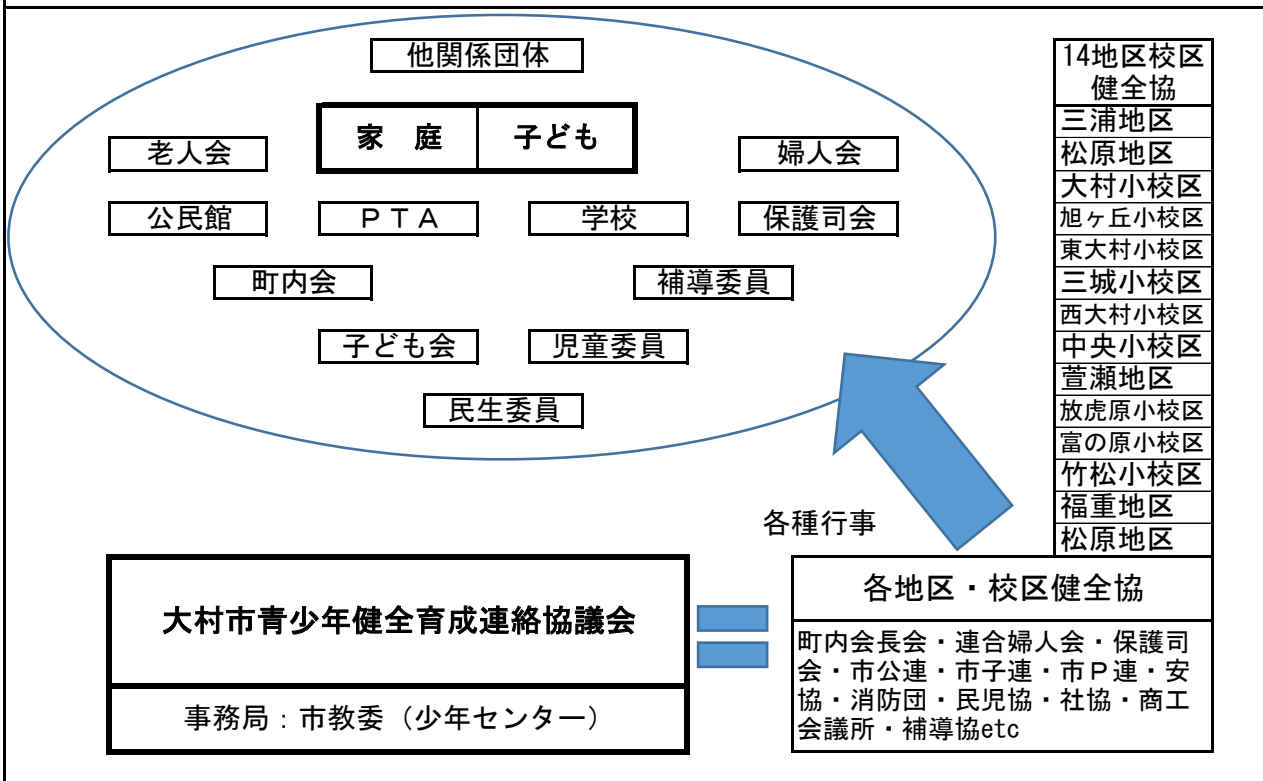
【事業の目的・概要・対象】

市内青少年の健全育成のため

- ①単位健全育成団体の諸活動への参加者を増やす。
- ②青少年の健全育成への意識を高揚させる。

地域子どもたちを地域で見守る事ができるように、ココロねっこ運動の広報活動などを行うとともに主催事業である研究大会などを開催する。

また、県民運動であるココロねっこ運動を積極的に推進し、ココロねっこパレードでも大人も子どもも一緒になって活動する。さらに、店舗の立ち入り調査や、白ポストを設置して有害図書回収を実施し、青少年を取り巻く有害環境の浄化に努め、青少年の健全育成を推進する。



【背景】

子どもと真正面から向き合わない大人の増加や青少年が関わる事件等の多発を受け、ココロねっこ運動が展開されている。大人のあり方を見直すことで子どもの健やかな成長を促すため、各種行事を展開していく必要がある。

担当課	教育委員会社会教育課(少年センター)	課長	喜々津 武利
担当者	玉利 尚・小畑 修一	問合せ先	0957-54-6405

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	連絡協議会主催事業への参加者数（パレード、指導員研修、研究大会）	人	461	440	480	490	500
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	単位団体の活動への参加者合計数	人	14,117	14,092	15,900	15,000	15,000
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	1,706	1,864	1,819	1,895	1,895	1,895	11,074
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,706	1,864	1,819	1,895	1,895	1,895	11,074
人件費	4,340	5,677	4,616	4,498	4,498	4,498	28,126
職員(人)	0.47人	0.65人	0.50人	0.47人	0.47人	0.47人	3.03人
時間外勤務(h)	91h	105h	120h	170h	170h	170h	826h
嘱託員(人)	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	2.40人
フルコスト	6,046	7,541	6,435	6,393	6,393	6,393	39,200

妥当性 (市の関与)	各地区・校区健全協でそれぞれ地域にあった活動を展開しているが、国や県の運動と連動しながら活動したり、それぞれが一体となって市全体で啓発活動を行い事業効果を高めるためにも、市の関与が必要である。また、健全育成の活動のためには経費が必要であり、市からの援助なしでは運営は困難である。
有効性 (施策貢献度)	家庭、学校での教育のほかに、日常生活する地域の大人が、青少年の非行・事故防止、社会環境浄化活動その他活動を実施し青少年を見守ることは、健全育成の効果がある。
効率性 (コスト)	必要最低限の経費を計上しており、これ以上の削減はできない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり